

令和7年度山形大学模擬講義一覧（T.社会共創学）

講義番号	開講方法		学問分野	講義テーマ	講義概要	教員氏名・職名	学部・学科・コース名	形式	受講人数	講義時間 （目安）	対象			消耗品費の要否	消耗品費の額 （目安）	備 考	SDGsの17の目標																
	オンライン	対面									小学	中学	高校				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
T6-1	○	○	社会共創学	人との共創によるソーシャルイノベーションの創出	地域課題を解決していくには、課題を認識して思考できる文系・理系の総合知を持ち、デジタルを活用して課題を分析し、多様な人々と協働してその解決策を創造できる人材が必要で。この講義では、本学に新設する社会共創デジタル学環における研究と、社会共創力・共創理論・学際的思考力を育む教育の魅力について紹介します。	社会共創デジタル学環担当予定教員	社会共創デジタル学環（R7.4開設）	講義	ご相談ください	30-60分			○	否	—		○		○	○			○	○	○	○		○	○	○			○
T6-2	○	○	社会共創学	”社会共創の魅力”を触れます	高校生の皆さんに、社会共創の研究が「面白い」「すごい」と興味を持ってもらうための講義プログラムです。「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、特に地方社会における経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」としてSociety5.0社会を切り口に研究の最先端の証や、大学での研究の様子、社会共創学を学んだ学生のキャリアについて講義します。	奥野 貴士 教授	社会共創デジタル学環	講義	ご相談ください	ご相談ください			○	否	—		○		○	○			○	○	○	○		○	○	○			○
T6-3		○	社会共創学	地理空間情報を用いて地域課題を考える	地域の課題を考えるにあたり、まず地理空間情報とその活用について説明します。その後、グループワークとして地図上で地域の課題について考えてみます。 ※高校の「地理総合」におけるGIS（地理情報システム）の取り扱われ方を踏まえて内容を調整します。	本多 広樹 准教授	社会共創デジタル学環	講義および実習（グループワーク）	30～40名	60-90分			△	○	否	—	プロジェクターとスクリーンをご用意します。 グループに一台（可能ならば、一人一台）インターネットに接続できるPCがあると、グループワークの際にGISを使用できます。PCがない場合のグループワークに代しては、事前に調整が必要です。 月・木・金は実施できません。															○	
T6-4	○	○	社会共創学	社会共創における経済学の役割を考える	社会共創デジタル学環では「経済」「公共政策」「自然と科学」から専門を一つ選択し、地域課題に向き合うための専門力や論理的思考力を身に付けます。なぜ、経済学の知識や考え方が地域の課題解決に役立つのでしょうか。この講義では、事例を挙げながら「経済学の課題解決力」を解説します。あわせて、人と協働する場合にも経済学的思考が有益であることを紹介します。	星川 晴彦 教授	社会共創デジタル学環	講義	何人でも対応可（ご相談ください）	45～60分 （ご希望に応じて調整しますのでご相談ください）			○	○	否	—				○				○		○		○					